

7音の古典"愛の"ガムラン
スマル・プグリンガン
Semar Pegulingan Saih Pitu



ゆめみるガムラン vol.5 水辺を歩くと

2023年10月28日(土)

13:30開場 *ウェルカム演奏あり

14:00開演

会場：三溪園 旧燈明寺本堂 (重要文化財)

神奈川県横浜市中区本牧三之谷58-1

(横浜駅、桜木町駅、元町・中華街駅よりバス)

アクセス↓



◎トゥラン・ブーラン Terang Bulan 「ゆめみるガムラン」シリーズ第5弾。

三溪園の正門を入ると、木々や草花の中、古く美しい建物が点在し、自然の力と人の手によるもの作りとの合作である庭園が広がります。歩みを進めると、大きな池。心地よく爽やかな風が水辺を渡ってきます。

私たちは、常に、清らかな水に生かされている。水は恵みであり、この星に暮らす全ての生き物が水と共に在り、我々自身もまた、水である。

そして、楽の音もまた、水のように流れたゆたい、私たちを包みます。音楽を奏でることは、水や風、大気や広い宙への憧れの現れでもあるのかもしれない。

秋の陽の下、青銅の奥深く不思議な響きと、繊細なギターの輝き、歌声が紡ぎ合い、舞い手の美しい身体が螺旋を描く、極上のひとときを。

演目 (予定) : 「ランシン・トゥパン」 (バリ古典器楽曲、ウェルカム演奏)
「泉 -mata air-」 (櫻田素子 作曲)
「ラサ・サヤン」 (マレー・インドネシア民謡)
「水辺を歩くと」 (佐野篤+櫻田素子 作曲)
「七色の音」 (佐野篤 作曲)
「タルナ・ジャヤ」 (バリ伝統舞踊、若き勝利者の舞)
「ルジャン・デワ」 (バリ奉納舞)
ほか (順不同)

*演目・内容は、変更となる場合もございます



トゥラン・ブーラン Terang Bulan

櫻田素子 足立真里子 小原眞巳 佐々木典子 錦織照子
伏木香織 藤田栄子 宮城康夫 吉田ゆかり 渡辺泰子

Terang Bulanはインドネシア語で"明るく輝く月"。日本で類を見ないハイクオリティーなサウンドを聴かせるバリ・ガムラン演奏ユニット。主宰、櫻田素子により3~20名程度まで自在な編成に生まれ、バリ伝統曲、舞踊曲、オリジナル作品、美術家やダンサーとのコラボレーション、芸能国際交流、イベント・ライブ、教育機関、体験ワークショップなど、各地で精力的に活動。バリ州政府主催芸術祭、バリ島ブレレン県主催ゴング・クビヤール生誕100周年記念行事に招聘され演奏、独自の表現力と演奏技術は、現地アーティストと観客に大きな驚きと称賛の声を巻き起こした。三陸国際芸術祭、東京シティ・バレエ団との創作(ティアラこうとう主催)、NHBSドラマ「荒神」音楽演奏(作曲:羽岡佳)、など。
CD:『ガムランの小箱』(honeypancake, 2011)
<http://sakuradamotoko.com/terang-bulan/>
<https://www.facebook.com/gamelanterangbulan>



櫻田素子 Motoko Sakurada

音楽家、ガムラン・トゥラン・ブーラン(Terang Bulan)主宰。ガムラン演奏と作曲、ダンスとの協働、横断的なアート制作、子どもから大人までの音楽ワークショップやブレイクスルーを手がける。著書『ガムラン、ゆらぎの音色』プリズム社、他。
CD『FASIAN MUSE〜亜細亜の女神』(東芝EMI)他。
<http://sakuradamotoko.com/>
<https://motobulan.exblog.jp/>



FBイベントページ



佐野篤 Atsushi Sano

3歳から音楽活動を始める。初めて手にした楽器はバイオリン。弾く楽器として性に合わなかったのか気持ち良かったのか、弾きながら寝てしまう。思春期にグラムロック等に影響を受け、19歳、S-kenに誘われ、東京のロックシーンに出る。28歳アフリカにリズムの旅に出て、帰国後KING(現:ザ・宇宙ステーションズ)を結成し現在に至る。
HP <https://www.atsushisano.com>



荒内琴江 Kotoe Arauchi

バリ舞踊家。2000年愛知県立芸術大学美術学部彫刻学科卒業、在学中からバリ舞踊を習い始める。彫刻で人体を学ぶ中で知った自然の形の不思議、美しさ、その感動をバリ舞踊の中にみる。2004~2006年インドネシア国立芸術大学舞踊科留学後、バリ舞踊グループ「ナーガ・ジュバン Naga Jepang」を結成。優雅な女性舞踊から勇壮な男性仮面舞踊まで舞い踊る日本を代表するバリ芸能アーティスト。



田中花乃 Hanano Tanaka

5歳の時にバリ舞踊を習い始める。色々な表現をするところがとても好きになり、どんどん夢中になる。7歳の時にバリ島を初めて訪れる。印象的だったのは、子どもたちが集まって楽しく真剣に踊りの練習をしていたこと。その光景とバリ島の空気感を思い出しながら、日々練習に励んでいる。ナーガ・ジュバン定期公演、2023年よこはまガムランhouse「南へぐるぐる」公演などに出演。



●チケット申込フォーム

先着順で受付。料金をお振り込みいただきご入金確認後、チケットを郵送いたします。

●チケットに関する問合せ：
ticketongakunomoto@gmail.com

●企画・構成：櫻田素子

●主催・制作：office オンガクノ素+トゥラン・ブーラン E-mail: ongakunomoto@gmail.com